

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和8年1月14日14時00分
近畿地方整備局
福井河川国道事務所

防災用EVバイク公開訓練 ～5Sで挑む雪害、Saveを実践～



- 今冬、福井河川国道事務所では『5つのSによる雪害対策の強化』を実施しています。このうち、スタック車両の早期救助(Save)の取組である防災用EVバイクの配備によって、スタック車両の脱出を補助することを目指します。
- この度、現地での雪害対策にあたる職員に対して、防災用EVバイクの操作技術向上を目的とした訓練を実施しますのでお知らせいたします。

○開催日時 1月16日（金） 13：30～15：00

○開催場所 福井県勝山市芳野171-70
かつやましよしの
スキージャム勝山 第1駐車場
※降雪状況により変更する可能性があります。

○報道関係者の皆様へ 各社ごとに、①所属（会社名）、②氏名（ふりがな）、③連絡先（TEL）、④メールアドレスを記載の上、
1月15日（木）17時を目途にお申し込みください。
申込のメールアドレス、FAX番号は別紙1を御参照ください。
会場の積雪状況により開催困難な場合は別途お知らせします。

<取り扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、福井県政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所
副所長 加藤 正己
道路管理課長 笹嶋 和彦
TEL: (0776) 35-2661 (代表)

～新たな取り組み～ 令和7年度 福井河川国道事務所 雪害対策



R7年度
方針

5S(Search・Save・Stop・Snow-removal/melting・Support)による雪害対策の強化

「課題」と「R6までの対応状況」		R7新たな取り組み								
<p>Search 早く見つける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大規模滞留を防ぐためには<u>スタック車両の早期発見</u>が重要 ○ 239基のカメラによる24時間監視やAI自動検知システムの導入(239基のうち57基)、死角部の遠隔監視を可能とする可搬式のAIカメラ(2台)を試行的に導入 ○ SNS(X)の危機情報を活用し、初動対応の迅速化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続き、AI検知・可搬式カメラ・SNSでスタック車両の早期発見 ■ 可搬式カメラは本格運用、監視カメラは7基増設(合計246基) <p><参考> 監視カメラのカバー率</p> <table border="0"> <tr> <td>国道8号</td> <td>52%</td> <td>国道161号</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>国道27号</td> <td>37%</td> <td>中部縦貫自動車道</td> <td>57%</td> </tr> </table>	国道8号	52%	国道161号	60%	国道27号	37%	中部縦貫自動車道	57%
国道8号	52%	国道161号	60%							
国道27号	37%	中部縦貫自動車道	57%							
<p>Save 早く救助する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大規模滞留のきっかけとなる<u>スタック車両は、早期の救助が必要</u>であるが、除雪車等の車両や徒歩では、発生現場への到着に時間を要する ○ 車両や徒歩でスタック現場に向かい救助 	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>直轄国道で初めて、雪道でも走行可能なキャタピラ式の防災用EVバイク</u>を2台導入 ■ 市街地に比べ、民家や脇道等が少ない国道8号の敦賀市から南越前町間において、スタック車両の脱出を補助できるように配備 ■ バイクには、牽引ソリに「緊急脱出用チェーン」を積載 								
<p>Stop 早く止める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通行止めは、事前の積雪予測をもとに、近隣で待機し実施するが、<u>近年の短時間強降雪</u>によって、急遽の通行止めを実施する場合、到着が遅れ<u>通行止めの措置に遅れが生じる可能性</u>がある ○ 規制車両が通行止め箇所に急行し、通行止めを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 規制車両の到着を待たずに、<u>ボタン1つでバリケードが可能なエア一遮断機</u>を導入 ■迂回路が少なく、市街地から遠い中部縦貫自動車道のインターチェンジ入口に設置 (福井北・松岡・永平寺参道・荒島・勝原・下山・九頭竜IC) <p>※ 来年度(R8年度)から遠隔操作も可能になる予定</p>								
<p>Snow -removal -melting 早く除融雪する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 道路勾配が厳しい箇所はスタックが発生しやすいが、<u>短時間に強降雪</u>となった場合、限られた除雪車両では<u>除雪作業が遅くなる可能性</u>がある ➤ 連続した強降雪の場合は、散水でも対応困難 ○ 除雪車126台により除雪作業に対応 ○ 塩化カルシウムの散布や散水、除雪等により対応 ○ 予報を見ながら他工区からの応援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 過去にスタックが発生した箇所(あわら市熊坂)において、<u>路面にロードヒーティングを整備</u>し、熱による融雪を実施(福井の降雪特性を考慮し、<u>転部のみに設置</u>し、省力化・コスト縮減を図る) <p><参考> 散水設備のカバー率</p> <table border="0"> <tr> <td>国道8号</td> <td>35%</td> <td>国道161号</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>国道27号</td> <td>18%</td> <td>中部縦貫自動車道</td> <td>19%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ■ 除雪車を2台増強(合計128台)し、除雪作業を迅速化 	国道8号	35%	国道161号	87%	国道27号	18%	中部縦貫自動車道	19%
国道8号	35%	国道161号	87%							
国道27号	18%	中部縦貫自動車道	19%							
<p>Support 地域に寄りそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 冬期の通学路では、除雪が不十分で安全な歩行空間が確保されない場合があることに加え、大雪時には特に通学時間帯前までに除雪を間に合わせることが困難 ➤ 大雪後は、住民の一日も早い日常生活の回復が必要 ○ 道路管理者毎に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道路管理者、学校関係者、自治体等による<u>調整会議を新たに設置</u>し、冬期の安全・安心な通学路を確保 <p>※ 先行実施地区として福井市(主計中地区)を選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域のニーズを踏まえ、自治体と連携した除雪を検討 								

S

Save



早く救助する



防災用EVバイクの配備箇所



渋滞に巻き込まれる除雪車



■報道関係の皆さんへ

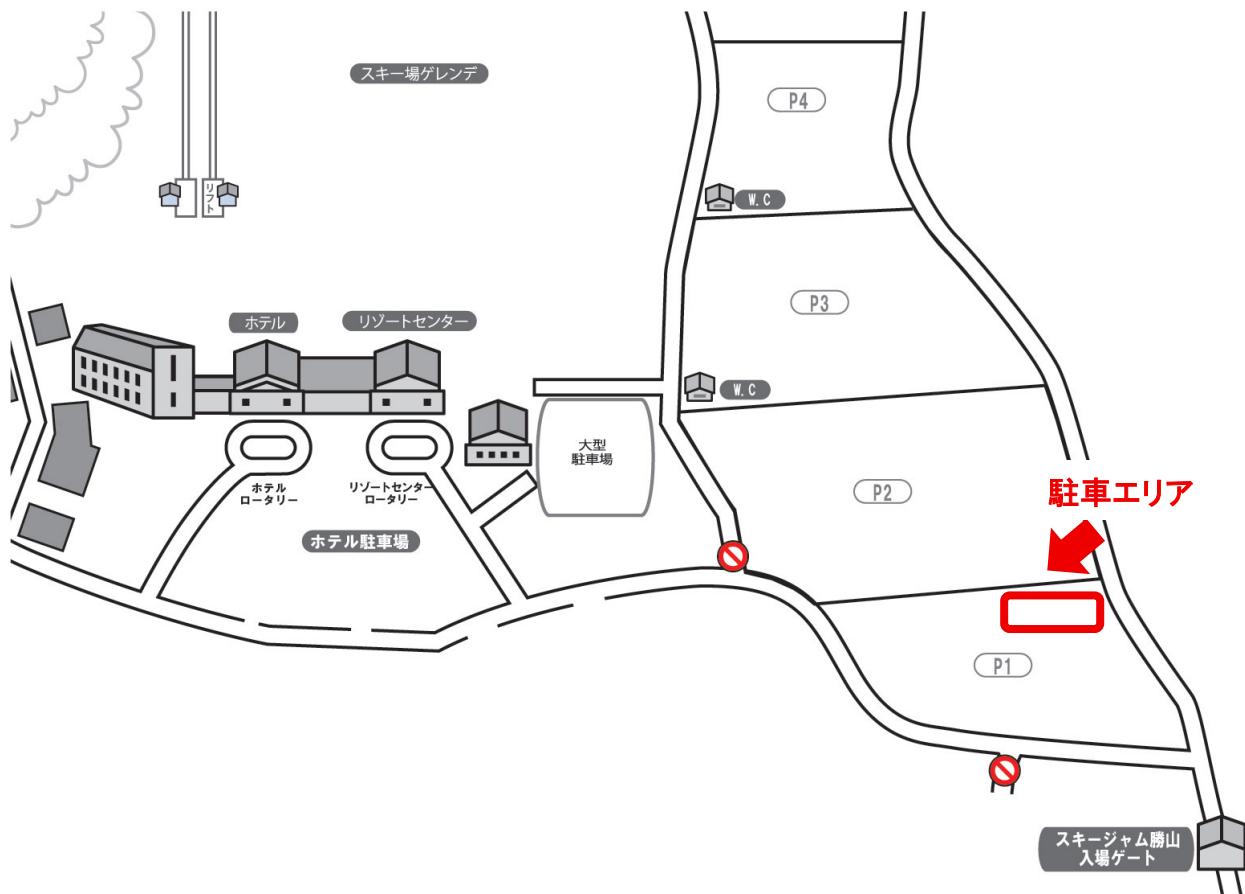
■取材申込み

- 取材希望の方は次ページ送信票により、電子メール(kkr-info-fukui@mlit.go.jp)
またはFAXにて、令和8年1月15日 17時までにお申し込みください。

■取材場所

取材場所

- 福井県勝山市芳野170-70 スキージャム勝山 第1駐車場
入口ゲートにて駐車料金をお支払ください。
車両は下図に示すエリアに駐車願います。



報道関係者 1/16 EV バイク訓練

取材申込み 送信票

1. 会 社 名

(ふりがな)

2. 氏 名

3. 連 絡 先

電 話 番 号

F A X 番 号

メ ール アドレス

※複数名の参加を希望される場合は、全員分の氏名、連絡先をご記入ください。

※※電子メールによる申込みの場合、タイトルを「1/16 EV バイク訓練 取材申込み」とし、上記1から3までをメール本文に記載ください。

<F A X> 0776-36-0971

<メールアドレス> kkr-info-fukui@mlit.go.jp

<T E L> 0776-35-2813(ダイヤルイン)

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所

道路管理課 笹嶋 和彦 宛